

人権擁護委員をご紹介します

【再任】高橋 智子 さん(扇田)
 【新任】高橋 圭子 さん(押切紀の国)

7月1日付けで、高橋智子さん、高橋圭子さんが、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。任期は令和9年6月30日までの3年間です。いじめや家庭内でのもめごと、近所でのトラブルなど、身近なことで困っていることがありましたら、お気軽にご相談ください。

問 町住民生活課 戸籍年金班 ☎0187(84)4903



今月の粗大ごみ収集について

今月の粗大ごみの収集は、次のとおりです。
 収集日◆8月15日(木)

申込期間◆8月5日(月)～8月13日(火)
 (平日の午前8時30分から午後5時15分まで)

事前に美郷町シルバー人材センターへの申し込み(☎0187(84)0307)と収集券の購入が必要です。
 ※詳しくは「美郷町家庭ごみの分け方・出し方」4ページをご覧ください。

交通指導員・防犯指導員を募集しています

美郷町では14名の交通指導員と5名の防犯指導員が、それぞれの仕事を持ちながら活動しています。「子どもや高齢者を交通事故や犯罪から守りたい」「地域の交通安全や防犯に貢献したい」という熱意にあふれた方々の活動への参加をお待ちしています。

■交通指導員

- 応募資格◆**・満20歳以上の美郷町に在住する方
 ・人格高潔、身体強健であって交通に関する法令に通じ、指導力を有する方
- 主な活動◆**・交通安全広報活動・パレード
 ・各種イベントでの交通指導

■防犯指導員

- 応募資格◆**・満20歳以上の美郷町に在住する方
 ・志操堅固、身体強健であって防犯に関する知識に精通し、指導力を有する方
- 主な活動◆**・防犯パトロール・子ども見守りパトロール
 ・各種イベントでの防犯活動

■報償について

交通指導員・防犯指導員ともに出勤手当が1回2,900円支給されます。その他に、役職に応じた手当(年額)が支給されます。

問 町住民生活課 環境安全班 ☎0187(84)4903

ジェネリック医薬品差額通知書を送付します

ジェネリック医薬品とは、最初に開発された薬(新薬)の特許が切れた後に、同じ有効成分で作られた薬のことです。効果・効能は新薬と同等ですが、開発費が少ないため価格が安くなっています。ジェネリック医薬品の使用を希望する場合は、医師や薬剤師にご相談ください。

■通知の対象者

国民健康保険加入者で、ジェネリック医薬品に切り替えたときに、1カ月間のお薬代(自己負担額)が200円以上削減できる方
 ※毎年2月と8月に通知しています。

この機会に、ジェネリック医薬品の使用をぜひご検討ください。

マイナンバーカードを健康保険証としてお使いください

12月2日(月)以降に、新たに国民健康保険・後期高齢者医療の資格を取得する方には被保険者証を発行しないため、マイナンバーカードをお持ちの方はマイナ保険証の利用登録をお願いします。マイナ保険証の利用登録をしていない方や、マイナンバーカードを作っていない方には「資格確認書」を交付する予定です。マイナンバーカードを作りたい方は、「町住民生活課」またはイオンモール大曲内「自治体スマートカウンター(みんなの窓)」で手続きができます。

問 町福祉保健課 医療保険班 ☎0187(84)4907

「カムカム健康プログラム」の参加者を募集します

参加者の方には、お口の健康等に関する講話を聞いた後、「カムカム弁当」という、歯ごたえや食感を楽しみながら栄養が取れるお弁当を食べていただきます。

この機会に、自分のお口や日ごろの食事を見直してみませんか?ぜひご参加ください。

- 日時◆①9月25日(水) 午前9時30分～午後0時30分
 ②10月23日(水) 午前10時30分～正午
 ③11月27日(水) 午前10時30分～正午
 ④12月18日(水) 午前10時30分～正午
 ⑤1月22日(水) 午前10時30分～正午
 ⑥2月26日(水) 午前10時30分～正午

会場◆美郷町中央ふれあい館 第1・第2和室
 内容◆お口の健康等に関する講話、カムカム弁当の実食
 ※6回目のみ、カムカム弁当の実食なし。

対象◆町内在住の60歳から79歳の方

※全6回の参加が可能の方

※LINEの操作が可能の方(アンケート回答)

※本プログラムは、松本歯科大学、東京医科歯科大学の協力のもと実施されます。年齢等のデータ収集にご協力いただける方のみ、参加が可能です。

参加料◆無料

申込方法◆下記へ電話、FAX、メールいずれかの方法でお申し込みください(住所・氏名・年齢・電話番号をお伝えください)。

※食物アレルギーのある方は、お申し込み時にお伝えください。

申込期限◆8月30日(金)

定員◆30名(定員に達し次第、締め切り)

申請 町福祉保健課 地域包括支援班 ☎0187(84)4907 FAX0187(85)2107
 問 ☎3310-hokatsu@town.misato.akita.jp

知っ得!あんしん!!「認知症予防」⑳

団塊ジュニアの世代が65歳以上になる2040年。全国の認知症の方の数は、約584万人になると推定され、これは65歳以上の高齢者の6.7人に1人の割合となります(厚生労働省公表値)。認知症は、誰でもなる可能性のある病気ですが、早期に発見して適切に対処すれば、進行のスピードを遅らせたり、症状が悪化するのを防いだりすることができます。

☑チェック!「今までと違う」と思ったら…

認知症は「早期発見」と「早期治療」が大切です。本人だけでなく、家族など周囲の人も「今までと違う」と感じるものがあつたら、その変化を見逃さないようにしましょう。

「高齢者本人」の気づき

- 直前にしたことや話したことを忘れてしまうようになった
- 置き忘れやしまい忘れなどで、探し物をすることが増えた
- 知っているはずの人や物の名前が出てこなくなった
- 少し複雑な話になると理解できなくなった
- 日付や曜日を間違えたり、慣れた道で迷ったりするようになった
- 今までできた家事や計算、運転などのミスが多くなった



「家族など周囲」の気づき

- 同じことを何度も言ったり、尋ねたりするようになった
- 今まで好きだった趣味などへの興味や関心がなくなった
- おしゃれや清潔感など身だしなみに気を遣わなくなった
- つじつまの合わない作り話をするようになった
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 財布が見当たらないときなど、盗まれたと人を疑うようになった



まずは相談

自分で初期症状チェックを行うほか、家族などにもチェックしてもらいましょう。当てはまる項目が複数ある場合や気になる症状がある方は、かかりつけ医や認知症の専門医がいる機関に相談しましょう。

認知症と間違えやすい「うつ病」

退職や近親者との離別など、特に喪失の体験が多くなりやすい高齢者は「うつ病」にもかかりやすくなります。「ふさぎこむようになった」などの状態から、認知症とうつ病の両方が疑われる場合は、なるべく早めに相談しましょう。

問 美郷町地域包括支援センター(町福祉保健課内) ☎0187(84)4907